

コース距離のご案内

- 1 スタート 殿橋**
もとはこちらが岡崎
約 4 分 ↓ 約 250m
- 2 乙川堤 (久後崎切れ)**
在りし日の川はまちとなった
約 6 分 ↓ 約 400m
- 3 籠崎堤と菅生川端石垣**
お城下まで舟が着く五万石の城
約 8 分 ↓ 約 550m
- 4 岡崎公園 (切通し)**
河岸段丘崖を活用した防衛線
約 3 分 ↓ 約 150m
- 5 岡崎公園 (二の丸)**
殿の御殿は古よりの住み良きところ
約 3 分 ↓ 約 180m
- 6 岡崎公園 (坂谷曲輪)**
徳川家康公生誕の地はどこに
約 2 分 ↓ 約 100m
- 7 岡崎公園 (清海堀)**
絶対に攻めたくない複雑に入組む縄張り
約 2 分 ↓ 約 100m
- 8 岡崎公園 (本丸)**
全ての歴史が重なる築城以来の中心部
約 11 分 ↓ 約 750m
- 9 中岡崎駅前広場 (八丁味噌)**
この土地にこだわり受け継がれし至高の赤
約 18 分 ↓ 約 1,200m
- 10 図書館交流プラザ・リぶら**
山も谷も町へ近世の造成本力
約 11 分 ↓ 約 750m
- 11 御旗公園**
東海道、曲がって延ばすよここまでも
約 12 分 ↓ 約 800m
- 12 籠田公園**
城の東に家康公御用達の最強商人の町
約 9 分 ↓ 約 600m
- 13 ゴール 善立寺 (13~16時)**
東海道をたどれば川が見える

愛知県が企画する、新しいまち歩きイベント

ブラアイチ in 岡崎

2017年12月24日回 ウォーキングコースマップ

愛知県・岡崎市

天下人ブランド! 岡崎の城下町はどうつくられた!?

まちの今の姿には理由があります。普段何気なく見ている景観も、その背景にあるストーリーを知れば、これまでと違って見えてきます。
台地、川、道、建物・・・ブラブラ歩き、知って「なるほど」! 地形と歴史からまちを知る、新しい発見が見つかるまち歩きに出かけましょう!

スタート受付 / 10:00 ~ 12:00

コース距離 / 約 6 km

所要時間目安 / 約 3 時間

ゴール受付 / 13:00 ~ 16:00



トイレ コンビニエンスストアなど 岡崎城天守など施設によっては有料 ※このほか、屋食など飲食店の情報は別途資料を参考にしてください。

! 交通ルールとウォーキングマナーを守りましょう。! マップを参考に各自のペースでコースを歩いてください。各ポイントで説明員が毎時 0・15・30・45 分に解説を行います。! コースは推奨ルート。どこから歩いていただいても結構です。

- 横に広がって歩かないでください。 ■ 草花や木の実などを取らないでください。
- 私用地への無断立ち入り、歩きながらの喫煙や飲酒はおやめください。
- 歩きタバコやタバコのポイ捨てはおやめください。 ■ ゴミは各自でお持ち帰りください。
- 記載のコース距離や所要時間は目安で、休憩時間や各施設での見学時間等は含まれません。ご自身の体力や体調等を考慮し、余裕をもってご参加ください。

- ! ゴールの善立寺でのアンケート調査にご協力ください。(粗品を進呈いたします。)
- ! このマップに関しては岡崎市役所まちづくりデザイン課 0564-23-6658 までお問合せください。

SOS 緊急連絡先 ※当日 16 時まで
0564-27-2751 愛知県西三河建設事務所 河川港湾整備課まで

天下人ブランド！ 岡崎の城下町はどうつくられた！？



1

14～15 世紀 川の付け替えと岡崎城の築城

- 室町幕府の足利将軍の命により、それまで南に流れていた乙川（菅生川）が、河岸段丘の台地を切り開き、西へ付け替えられました。
- この付け替えにより、現在、岡崎城が建つ地が、その南の守りを強固とし、より築城に適した地となったのです。
- 台地を切り開いたことによりできた河岸段丘の先端に、現在の岡崎城がつけられました。



2

1600 年前後 城を守るための道、堀、橋の整備

- 岡崎城は、戦国時代から江戸時代にかけて、城主が目まぐるしく変わります。
- 1590 年、徳川家康公が豊臣秀吉により江戸へ移封された後、新たな城主となった豊臣方の田中吉政は、家康公のいる東国への備えとして、自然の地形を活かしながら全国屈指の延長を誇る堀を巡らせ、総構えを造りました。石垣造りには大坂から石工が集められました。
- 逆に西への備えの必要性は薄れ、日本一といわれた規模の橋を矢作川に架ける工事を進めました。



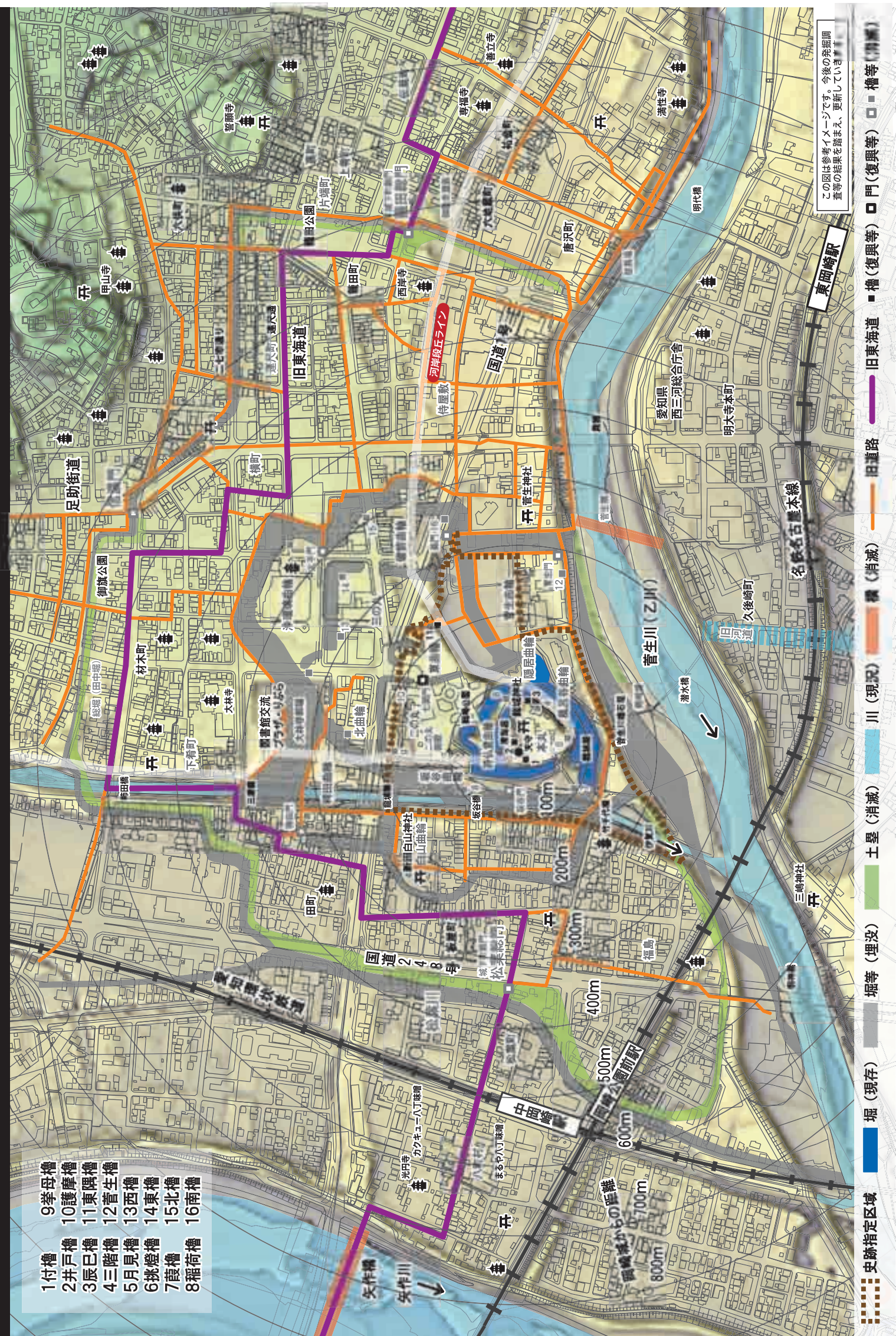
3

江戸時代 泰平の世の岡崎城下町の発展

- 1600 年、関ヶ原の戦い後、家康公の命により譜代の本多康重が初代の三河岡崎藩の藩主となります。
- 本多康重は、それまで城から離れていた東海道を、正式に城下に引き入れるルートへと変更しました。
- 防御のためのジグザグ道は、「東海道岡崎城下二十七曲り」と呼ばれる名所となりました。
- 新たな東海道は石工の住む石屋町や八町村を通ることになりました。東海道は、岡崎の特産品の石燈籠や八丁味噌を、旅人へ広めるショーウィンドウのような効果も果たしたのです。
- 石製品は菅生川から、八丁味噌は矢作川から、舟で全国へ出荷されました。

このように、足利氏による川の付け替え、田中吉政による東海道や城郭の整備が後に続く徳川の時代の岡崎城下町の発展へつながったのです。

岡崎城郭図（江戸時代後期）と現代市街地図の重ね合わせ図



ブライイチin岡崎「天下人ブランド！岡崎の城下町はどうつくられた？」画像出典一覧

掲載箇所	資料名	所蔵者/提供者
90殿橋	岡崎百景5「これからよろしく！岡崎と歴史を刻む殿橋渡り初め」	
90殿橋 竣工当時の式典	殿橋渡り初め	岡崎市立中央図書館
90殿橋 岡崎の石工による施工		個人資料
90殿橋 高欄の石材と階段石		
90殿橋 殿橋テラス		
01絵図	岡崎城絵図(後本多家時代・外郭)	岡崎市美術館
01菅生川南の元岡崎城	『三河聴視録 明大寺村記』明大寺古屋敷(西郷弾正左衛門居城)絵図	国立公文書館内閣文庫
01舟渡と平岩	岡崎城絵図(前本多家時代)	岡崎市美術館
01桜馬場と土場		
01殿橋(菅生橋)	徳川宗家の遺蹟で名高き岡崎市【十六景】岡崎市の南部を貫流する菅生川に架せる壮麗なる殿橋	岡崎市立中央図書館
02現在の地図		国土地理院
02新編岡崎市史	六名堤概念図	新編岡崎市史2
02久後崎切れの石碑		
02三郡輪中治水碑		
02水害地形分類図		国土地理院
02地理院地図		国土地理院
03絵図		
03菅生川端石垣の発掘調査		
03籠崎堤	岡崎城絵図(水野～後本多家時代)	岡崎市美術館
03ひょうたん池		
03川端からの近世の道		
04絵図	岡崎城絵図(和田家文書)	岡崎市美術館
04菅生曲輪	菅生曲輪の空撮写真	
04切通し		
04段丘の堆積土断面		
04東隅櫓	東隅櫓と切通し	
05絵図	岡崎城絵図(和田家文書)	岡崎市美術館
05七間門	現大手門	
05二の丸御殿	参州岡崎二之丸御住居図(和田家文書)	岡崎市美術館
05二の丸御殿の発掘調査		
05額田県県庁や図書館利用	徳川宗家の遺蹟で名高き岡崎市【十六景】(岡崎)碧水清き伊賀川 公園附近の風光	岡崎市立中央図書館
06絵図	岡崎城絵図(和田家文書)	岡崎市美術館
06産湯の井戸		
06本丸・二の丸の段差		
06坂谷門	龍城図	岡崎市美術館
06坂谷曲輪の土塁と水堀跡		
07絵図	岡崎城絵図(和田家文書)	岡崎市美術館
07清海堀		
07帯曲輪と二重の空堀		
07廊下橋		
07天守台の鏡石		
08絵図	岡崎城絵図(和田家文書)	岡崎市美術館
08天守		
08取り壊し前の岡崎城天守	本丸天守古写真	
08不整形な本丸外周		
08本丸の石垣		
09絵図	岡崎城絵図(水野家時代・中根家文書)	岡崎市美術館
09八丁味噌蔵とまちなみ		
09矢作東宿と八町村		
09松葉総門		
09新田白山神社の外堀跡	航空写真	
10絵図	岡崎城絵図(水野～後本多家時代)	岡崎市美術館
10伊賀川東の段差		
10大林寺郭堀		
10大林寺郭堀の発掘調査		
10二十七曲り沿いの商家		
11絵図	岡崎城絵図(水野家時代・中根家文書)	岡崎市美術館
11御旗公園南の段差		社会教育課
11東海道二十七曲りの道幅		社会教育課
11信濃門と道		社会教育課
11府内地通り南の段差		社会教育課
12絵図	岡崎城絵図(前本多家時代)	岡崎市美術館
12丘陵上に並ぶ社寺群	諸国当城之図 三河・岡崎	広島市立中央図書館浅野文庫
12石屋町(裏町・花崗町)	石屋町界わい	岡崎市立中央図書館
12籠田総門	籠田惣門(貫河堂筆)	旧岡崎市史3
12御馳走屋敷(町並屋敷)	町並屋敷(御馳走屋敷)図	岡崎市美術館
13絵図	岡崎城絵図(水野家時代・中根家文書)	岡崎市美術館
13岡崎城下二十七曲りの完成	東海道変遷図	新編岡崎市史3
13専福寺の境内地と石垣		
13善立寺の境内地	善立寺(貫河堂筆)	旧岡崎市史7
13専福寺と善立寺の役割		